



春の訪れを告げる 120 年の風情

横浜・三溪園「第 52 回 観梅会」

2026 年 2 月 7 日(土)～3 月 3 日(火)

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2026 年 2 月 7 日(土)～3 月 3 日(火)まで、「観梅会」を開催します。三溪園の観梅会は、園の創設者・原三溪が江戸時代から名の知られた東京・蒲田、川崎・小向（御幸）、磯子・杉田の梅林から古木 1,500 本余を集め、開園後間もない明治 41（1908）年に梅林の完成を祝って開催したことにはじまります。途中戦争などでいつからか途絶えてしましましたが、昭和 50（1975）年に内容をあらため、「三溪園観梅会」として再スタートし、今年で 52 回目を迎えます。現在 500 本ほどある梅の中には、三溪による移植当時から遺る臥竜梅（遅咲き）のほか、昭和 52（1977）年に中国・上海市から贈られた緑萼梅（早咲き）といった珍しい種類の梅もあります。期間中の土・日・祝日には外苑奥の東屋「初音茶屋」で温かい麦茶を無料で提供するほか、梅の盆栽展、俳句大会などを順次開催します。春の訪れを告げる梅の花の観賞と香りを味わっていただくとともに、開園当初の三溪園を彷彿させる日本の風情をお楽しみください。



■観梅会概要

期間 | 2026 年 2 月 7 日(土)～3 月 3 日(火)

時間 | 9:00～17:00（最終入園 16:30）

料金 | 無料（入園料別途）

麦茶の無料接待

開園当初、初音茶屋では常にお湯が沸かされ、誰もが自由にお茶を飲むことができました。1915（大正 4）年には芥川龍之介もここに立ち寄り、この接待を俳句に詠んだことが知られています。当時から使われてきた古釜を吊るし、昔のままの風情で無料の麦茶をご提供します。



日程 | 2 月 7 日(土)～3 月 3 日(火)の土・日・祝日のみ

時間 | 10:00～15:30 ※2 月 8 日は 12:00～15:30 に短縮します

場所 | 初音茶屋

観梅会盆栽展

梅を中心とした盆栽約 40 点を展示し、園内に彩りを添えます。



日程 | 2 月 8 日(日)～15 日(日)

時間 | 10:00～16:00 (最終日は 15:30 まで)

場所 | 中央広場

協力 | 横浜三溪園臘月会

春の一日庵茶会

どなたでも気軽にご参加いただける茶会をコンセプトに、年に 2 回開かれる、ボランティアによる茶会です。

今回は、通常非公開の横浜市指定有形文化財「白雲邸」にて開催します。

日程 | 2 月 28 日(土)

時間 | ①10:00 ②10:45 ③11:30 ④13:15 ⑤14:00 ⑥14:45 (所要時間約 30 分、定員各回 12 名)

場所 | 白雲邸

参加費 | 事前申込制 1,000 円 (税込、入園料別途)

申込み・問い合わせ | Peatix にて 1 月 28 日(水)より販売予定

茶論 望塔亭

“茶”を知る・学ぶ・味わう・親しむ をコンセプトに様々なお茶の魅力や楽しみを提供するポップアップカフェスペースの茶論 望塔亭。抹茶、煎茶、国産紅茶、国産烏龍茶からお茶をお選びいただけます。



期間 | 2 月 10 日(火)～15 日(日)、20 日(金)～23 日(月・祝)、27 日(金)～3 月 1 日(日)

時間 | 9:00～16:30 (16:00 ラストオーダー)

会場 | 三溪記念館ロビー

出店者 | 日本茶専門店 茶倉 SAKURA

メニュー | 都福梅とココア落雁のセット 1,300 円

猿まわし

日光さる軍団から太郎次郎一門のコンビが楽しい芸を披露してくれます。



日程 | 2 月 7 日(土)、11 日(水・祝)、14 日(土)～15 日(日)、21 日(土)～23 日(月)、28 日(土)、3 月 1 日(日)

時間 | 10:00～15:30

場所 | 中央広場

【動物取扱業者標識】株式会社モンキーエンタープライズ／東京都港区赤坂 5-4-13 (拠点・事業所住所: 東京都葛飾区南水元 4-8-3)／取扱業種
別: 展示／登録番号: 25 東京都第 006780 号／登録年月日: 令和 7 年 5 月 26 日／登録有効期限: 令和 12 年 5 月 25 日／動物取扱責任者氏名: 長沼江美
※天候や猿の体調、その他の諸事情により、変更または中止の場合もございます。開演時間中は猿の体調に配慮し、適宜休憩する場合があります。

第 50 回三溪園観梅俳句大会

往時より園内で句会が行われ多くの著名俳人が訪れていたことにちなみ、俳句大会を開催します。参加者の方には園内散策後に投句いただき、表彰も同日に行います。



日程 | 2 月 22 日(日)

時間 | 10:30～受付、12:00 投句締切・開会（終了は 16:30 頃予定）

場所 | 鶴翔閣

料金 | 1,000 円（入園料別途）

主催 | 公益財団法人三溪園保勝会、横浜俳詠会

◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906(明治 39)年 5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha (東京ドーム約 3.7 個分) に及ぶ園内には、廢仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村觀山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953(昭和 28)年に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007(平成 19)年には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

施設概要

施設名	三溪園（さんけいえん）
運営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://x.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円（本人確認書類の提示が必要）
開園時間	9:00～17:00（最終入園 16:30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課 高橋・門脇・向井

TEL : 045-621-0635 / FAX : 045-621-6343

MAIL : websupport@sankeien.or.jp